

●本説明書は施工後お施主様にお渡しください。

■取付け手順

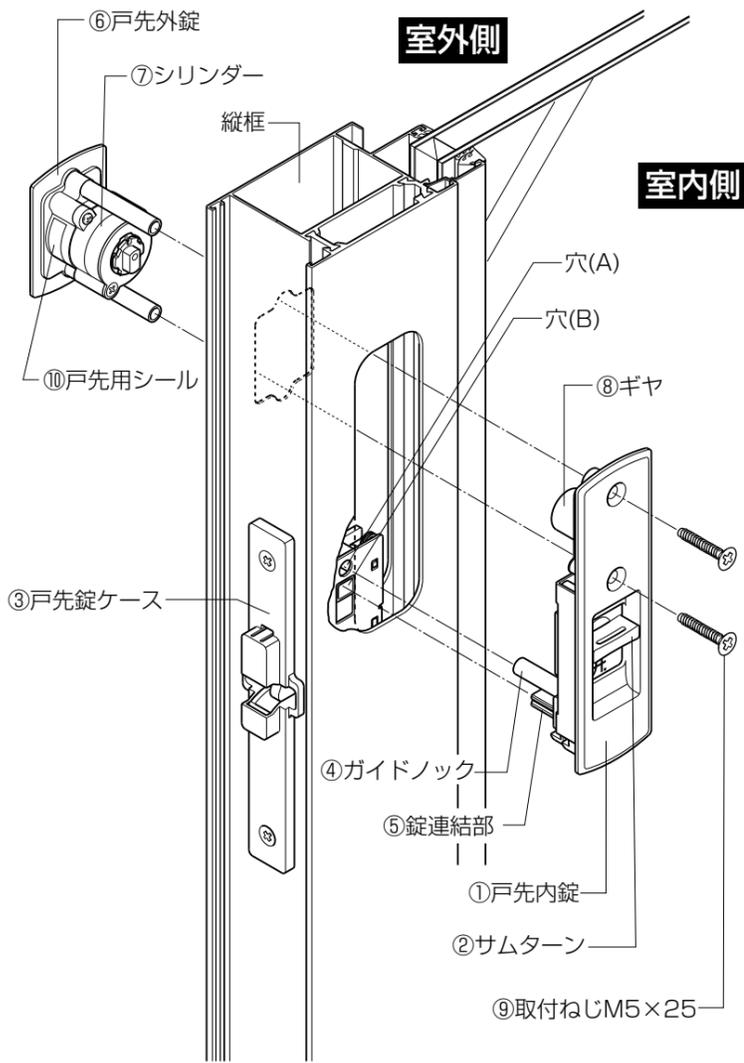
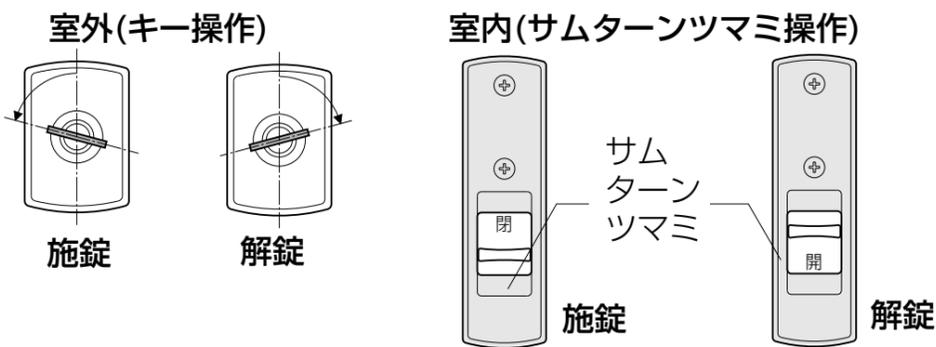
●戸先錠ケースを先に取り付けてください。

- ①戸先内錠の②サムターンを上げて③ケースの穴(A)に④ガイドノックを挿入し、穴(B)に⑤錠連結部を差し込みます。
 - ⑥戸先外錠の⑦シリンダーを①戸先内錠の⑧ギヤ部に差し込み、室内側から取付けねじM5×25で取り付けます。
- ※戸先外錠は、召合せ外錠とは異なります。⑩戸先用シールを確認してください。



※戸先外錠にはシリンダー付きとシリンダーなしがありますが、外障子・内障子どちらの縦框にも取付け可能です。
※本錠は、安全装置付きのため、障子が閉まった状態でないと②サムターンの「開」「閉」操作はできません。

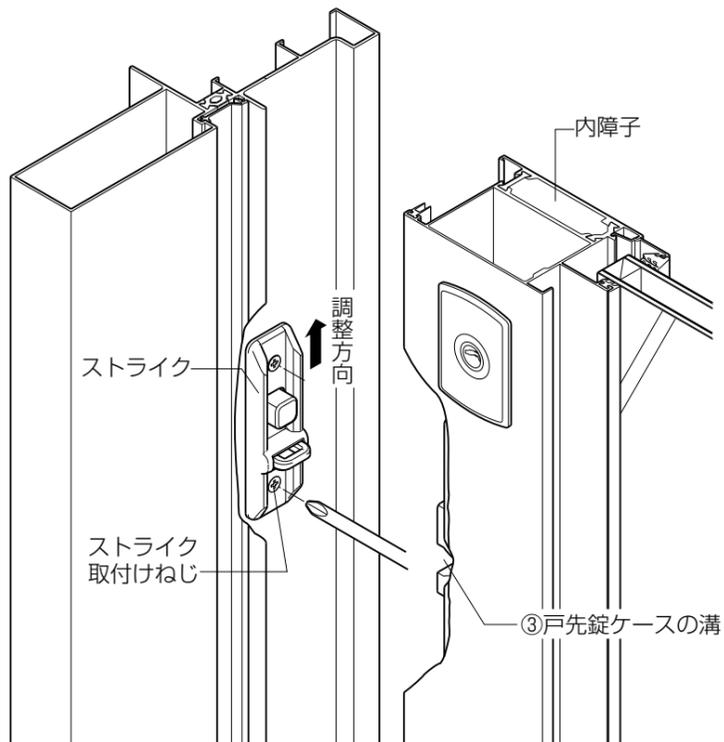
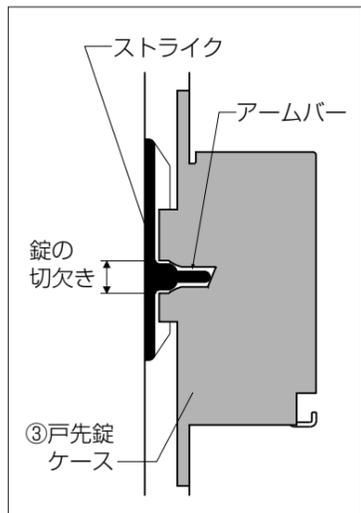
■施解錠操作方法



■ストライクの調整方法

1 上方向の調整

- 引手錠がかかりにくい場合やラッチがかかりにくい場合は、ストライク取付けねじを上下2カ所ともゆるめ、ストライクを上方向に調整してください。
- 調整幅：上方向5mm
- ※障子を少し開けた状態でアームバーが錠の切欠きの中心にくるように調整してください。



2 出方向の調整

- 上方向の調整をしても、錠がかかりにくい場合やラッチがかかりにくい、ラッチ解除がかたい場合は、ストライク取付けねじを上下2カ所ともゆるめ、錠受けスペーサー（枠に同梱）の裏表を確認して枠とストライクの間差し込んでください。
- 調整量：1枚で1.5mm（4枚同梱）
- ※錠受けスペーサーはあらかじめ1枚セットされています。
- ※ストライクの寸法はできるだけ小さくしてください。出しすぎると気密材が当たらなくなり、気密性能が劣化したり、召合せ錠がかからなくなったりすることがあります。

